

この度はクラニシ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮させていただくために、本取扱説明書をよくお読み下さい。

★ワンタッチでSWRと通過電力が測定できる

瞬間測定

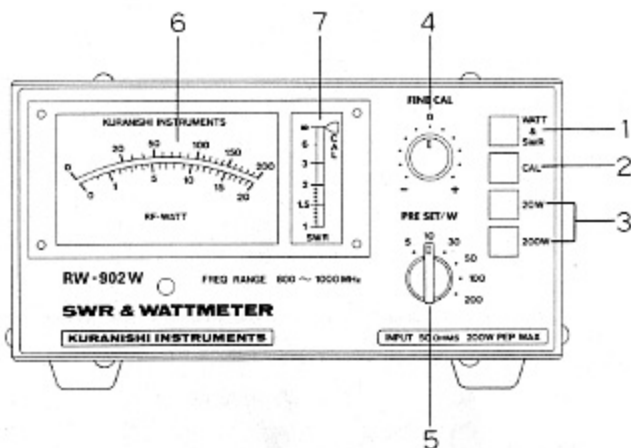
★従来どりのキャリブレーション機能による

一般測定

★換算表又は計算式からSWR値を求める

精密測定

各部の説明



1. WATT & SWR

このボタンを押すと測定状態になります。

2. CAL

キャリブレーションをとる時にこのボタンを押します。

3. 20W/200W

電力指示メーターのフルスケールを切換えるボタンです。

4. FINE CAL

キャリブレーションをとる時に2.のCAL ボタンを押してからこのつまみを廻します。

5. PRE SET/W

送信しようとするトランシーバーの出力に応じて切換えます。

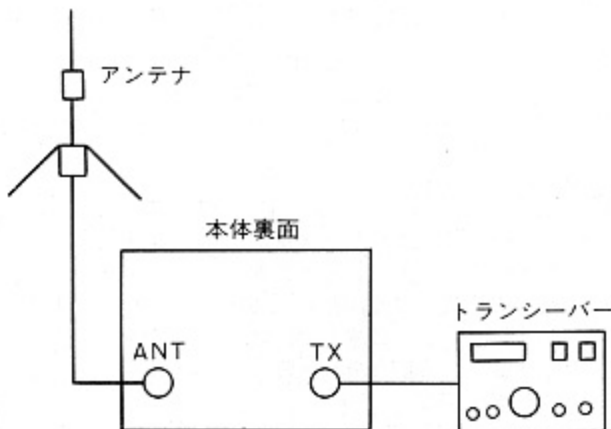
6. 電力指示用のメーターです。

7. SWR 指示及びCAL セット用のメーターです。

接続のしかた

- トランシーバーのANT 端子と本機のTX 端子を同軸ケーブルで接続します。
- アンテナを本機のANT 端子へ接続します。

同軸ケーブルは5D2V 以上の良質なもので確実に接続して下さい。



瞬間測定

- ①PRE SET/Wつまみを送信しようとする出力(近似値)に合わせます。
- ②FINE CAL ツマミをセンターの0 に合わせます。
- ③WATT & SWR ボタンを押します。
- ④20W/200W ボタンを送信しようとする出力に応じて切換えます。
- ⑤トランシーバーを送信状態にすれば、電力指示メーターで進行波、SWR 指示メーターでSWR を指示します。

①～④までの操作は一度セットすれば、出力が変わらない限りそのまま使用できます。

一般測定

- ①PRE SET/Wつまみを送信しようとする出力(近似値)に合わせます。
- ②WATT & SWR ボタンを押します。
- ③20W/200W ボタンを送信しようとする出力に応じて切換えます。
- ④トランシーバーを送信状態にすれば電力指示メーターで進行波を指示します。
- ⑤CAL ボタン押し、FINECAL ツマミでSWR 指示メーターの針をCAL 点に合わせます。
- ⑥WATT & SWR ボタンを押す。
この時電力指示メーターで進行波、SWR 指示メーターで正確なSWR 値を指示します。

精密測定

- ①～④までは一般測定と同じです。
- ⑤CAL ボタンを押します。
この時電力指示メーターで反射電力を指示します。
- ⑥4 で読み取った進行波電力と5 で読み取った反射電力から換算表又は計算式で正確なSWR 値が求められます。

計算式 $SWR = \frac{\sqrt{P_f + P_r}}{\sqrt{P_f - P_r}}$ P_f 進行波電力
 P_r 反射波電力

又は、 $RP = \frac{P_r(W)}{P_f(W)}$

電圧定在波比 $V.S.W.R = \frac{1 + \sqrt{RP}}{1 - \sqrt{RP}}$